

<建設業会計 1級（財務諸表）ミニテスト17> 退職給付会計

【問題】

退職給付会計に関する条件は、資料の通りである。平均残存勤務年数は10年、割引率は3%、期待運用収益率は3.5%とした場合、個別財務諸表上の仕訳と連結財務諸表上の仕訳を示しなさい。

<資料>

	2012年3月	2013年3月
退職給付引当金	930	—
(退職給付に係る負債)		
退職給付債務	1,500	2,040
年金資産	570	890
勤務費用	—	315
年金拠出金	—	300
過去勤務費用当期発生額	—	100
数理計算上差異当期発生額	—	80

【解答】

個別財務諸表

科目	金額	科目	金額
退職給付費用	358	退職給付引当金	358
退職給付引当金	300	現金預金	300

連結財務諸表

科目	金額	科目	金額
退職給付費用	358	退職給付に係る負債	358
退職給付に係る調整額	162	退職給付に係る負債	162
退職給付に係る負債	300	現金預金	300

【解説】

<個別財務諸表>

退職給付費用は 358 となる

勤務費用	315
利息費用	45
期待運用収益	-20
過去勤務債務償却	10 (100/10)

<連結財務諸表>

退職給付費用は個別財務諸表と同じ

退職給付に係る負債は 1,150 となる	
期末退職給付債務	2,040
期末年金資産	-890
	1,150